

今を生き抜き、新時代を切開く強大な民商・愛商連を

愛商連第六五回定期総会開催



6月2日(日)に愛商連第65回定期総会が千種区吹上の中小企業振興会館で開催されました。名古屋南民商からは、定数どおり、代議員9名、評議員1名、県連三役1名、県常任理事2名、理事3名の16名が参加し一〇〇%の出席でした。総会は、午前10時に定刻どおり開催され、午前中は、樽松愛労連議長、井上さとし参議院議員の来賓のあいさつ、太田会長のあいさつ、のあと鶴飼事務局長から運動方針の提案、久野会計から決算・予算の提案がされました。

午後は10の分散会に分か

れて、お互いの民商の日頃の活動や悩み、総会方針、決算・予算への疑問や意見など2時間にわたって議論しました。

分散会では、主に、消費税増税阻止の取り組みや組織建設などが議論され、消費税問題では「様々な課題があるが、特にこれは必死でやらないとダメ」組織建設では、先日行われた地方別交流会での経験など率直な意見が交流されました。

分散会終了後は、全体会で方針、決算・予算、特別決議を採択、最後に新役員の承認と紹介をして終了しました。

仲間への気配り、心配りを大切に！

「身体丈夫」と共済金掛け対話、道徳豊田支部、

5月28日(火)道徳豊田支部の鈴木支部長は会員(82歳)の所へ共済金の「入院見舞金」を届けました。民商共済金は簡単な手続きで申請でき、「元氣そうで安心した」「仕事の方はどうか？」と役員が会員訪問のきっかけとなつて喜ばれています。「全国の民商共済会の皆様、お見舞金頂きありがとうございます」



共済金を届けて対話する鈴木支部長

と早速、お礼のハガキが届きました。

「アドバイスもらえて安心した」呼続支部・会員訪問、

5月31日(金)呼続支部の会員訪問を行いました。「急な入院となり仕事を外注に出した」(クリーニング)。「手首を骨折して入院。夫婦で商売しているので得意先から注文があつても商品を卸せなかった」(衣料品卸、販売)。「隣のビルを壊し老人ホームができる。家屋調査の要望したがホコリと騒音が心配」(お茶販売)など様々な商売



会員訪問で対話する山口支部長

の悩みができました。突然の訪問でしたが、「話を聞いてもらえて嬉しかった」「心配していたことなどアドバイスももらえて安心した」など声が返ってきました。

事務所に届けて頂いた代議員の皆さんの感想

- 分散会で、70歳、80歳の方が若い役員づくりや拡大、班会の開催に強い関心を持っているのが印象的でした (中野)
- 私が参加した第7分散会では消費税増税反対の街頭宣伝署名活動を定期的に進めていることが発言され名古屋南民商も同様の活動を主に金山駅頭でしていることを発言しました (清水)
- 時代の変化はめまぐるしい、今までの民商のいいところは継承していきながらも若い世代の経営者や時代の流れに沿った、新しい民商も必要ではないかと感じた (鈴木)
- 分散会での「自分がサラリーマンのときには、消費税がきついということは、理解できなかった、預り金なのだからそのまま持っていて、払うだけだろうと思ったが、自分が払う段になって、そのきつさが理解できた」という発言が印象に残った (矢上)
- 今の時代はやはり技術を磨き高める努力が生き残るには必要ではないか、ただ作るだけ、売るだけの商売では続かない時代ではと思いました (平林)
- 要求実現のため困っている人に民商を知らせなきゃ、最近の入会者はホームページで知り、消費税増税廃止の民商と知って入会されたとかやはり宣伝ですね。民商つぶされてたまるか■消費税増税廃止の議員を増やそう (清原)

「お尋ね」「呼び出し」などは任意の文章です
申告が終わって、確定申告の見直し、呼び出し、お尋ねなどの文章が続々と届られています。しかし、これらには法的強制力はなく、連絡・来所はあくまで任意です。まずは、民商に相談して下さい。